



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



2016年
2月号
2016.2.6発行
第172号

文化庁助成事業

多文化共生シンポジウム

あなたのとなりに外国人！ つながろう、やさしい日本語で

平成 28 年 2 月 7 日(日)13 時半～16 時
草津アマカホールにていよいよ開催！



今回のシンポジウムは、草津市国際交流協会が文化庁よりの助成を受けて行っている「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の集大成の事業です。日本語教育支援者のステップアップ研修会、草津市内の3日本語教室【オリーブ・シッパス・草津市国際交流協会】が独自に行った「生活向上のための日本語教室」の成果を受けて、外国人に対する日本語教育の必要性を広く市民に知ってもらえるように企画したシンポジウムです。このシンポジウムを機会に、外国人に対する日本語教育の必要性が認識され、更に次年度に向けてこの事業が発展的に継続できることを期待しています。

草津市国際交流協会 事務局長 浦幹夫

中川先生のへんてこ日本語

67

〜ていただいてもよろしいですか

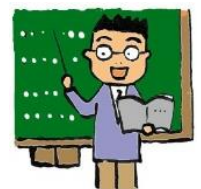
ある大学からの帰りのスクールバスで、隣に座っていた女子学生に、「カーテン閉めていただいてもよろしいですか」といわれた。日差しでスマホの画面が見にくいようだ。そういわれると、「はい」とか「いやだ」とか返答せざるをえない。「はい」といって、カーテンを閉めた。

日本語教育で依頼といえば、「〜ていただけませんか」や「〜てくださいませんか」が丁寧であると教える。しかし「カーテン閉めていただけませんか」といわれると、無理に開けたカーテンを、「迷惑だから閉めてほしい」と頼まれているような気がする。「静かにしていただいけませんか」といわれると、「うるさい！」と注意されているようだ。

ある学生から、相談があるとのメールが来たのだが、「午後ならあいてるので、いつでも来てください」と返事を出すと、「3時頃うかがってもよろしいですか」と返ってきた。時間になっても学生がやって来ないので、忘れたのか、私のほうが時間を間違えたのかと思っていたら、一時間ほどして学生が現われ、どうしたのかと尋ねると、「先生から返事がなかったのだから、ご都合が悪いと思いました」という。返事をしなかった私が悪いのかもしれないが、「〜てもよろしいですか」と聞かれると、「はい/いいえ」と返答するのが鉄則なので、このような依頼をされると、永遠のループにはまってしまい、かえって相手の手を煩わすことになりかねない。相手への気遣いのつもりが、曖昧な表現と判断されるかもしれない。

今度学生からこんなメールが届いたら、「3時に来ていただいてもよろしいですか」と返答してみようか。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



文化庁助成オリーブ日本語教室特別編

今年度オリーブでは、KIFA が受託した文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教育助成事業に協力、大きく貢献することができました。通常のクラスと別に、「防災」「環境保護とごみの分別」「自転車の正しい乗り方」「日本のお正月」をテーマに特別授業を実施、また日曜クラスを新設し、毎回テーマを変えて生活に役立ち、かつ面白い日本語授業をやるうということで、A コース初級を7回、B コース中級を8 回行いました。担当したメンバー数人からの感想を以下に紹介します。

A コース

A コースは初級学習者が対象ということで、彼、彼女らが日常生活で遭遇する場面（スーパー、駅など）での“使える日本語”や便利知識の学習をテーマにした授業内容にしました。また従来の“教室学習”のスタイルを取らず、豊村先生にロールプレイの日本人役を演じていただいたり、学習者と一緒に実際に現地に行って習った表現を試してもらったりもしました。この場面シラバスを採用したクラスを組み立てるのは今までに経験がなく、不安でいっぱいでした。しかし授業を通して、学習者から「あーそれを知りたかったんです」とか「このクラスは本当に実用的ですね」といった声をいただき、少しでも学習者の力になれたことがとても嬉しいです。またこのクラスの経験から、自分の古いスタイルの教え方の問題点に気付くことができ、自分自身にとっても貴重な成長の機会となりました。またこのような機会があれば、ぜひチャレンジしたいと思います。ありがとうございました。

堀野善康



ことわざの授業では、「猿も木から落ちる」といった最もポピュラーなことわざから

B コース

ら入り、よく知られているものを紹介しました。さらに、二人ペアになってロールプレイのように状況に応じたことわざを発表し合いました。言い方は違えどそれぞれの国に似たようなことわざがあり、それを紹介し合うこともしました。例えば、日本では「馬の耳に念仏」ですが、アジアの多くの国では馬ではなく、牛の耳であるなど、国が変わると動物や表現の仕方が変わることを知り、ことわざに対する興味が一層増しました。おやじギャグは、ダジャレを中心に授業を行いました。私も思いつかないようなダジャレも飛び出し、笑わせてもらいました。私自身も楽しめました。

杉山 仁



関西弁の授業では、関西弁の良さや特徴を楽しく学び、少しでも使えるようになることを目標にしました。①日本語には方言がある⇒関西弁もその1つ。②関西弁と共通語の違いを感じる⇒お箸を安く買おうとする客が、「ちょっとまけてくれへん？」と店員に交渉する会話文を、関西弁と共通語で聞き、印象や違いを話し合いました。③関西弁の特徴を理解する⇒会話文の中から、アクセントや語彙、文法、表現の違いを5つほど紹介し、説明しました。例えば、本当→ほんま、だめ→あかん、うそじゃない→うそちゃう、食べない→食べへん等。④関西弁で会話練習をする⇒買い物客と店員の会話文を復唱し、2人ペアで練習の後、発表し合いました。練習のときは、関西弁の発音が難しそうでしたが、発表のときは、みなさん立派な関西人！でした。この授業を通して、関西弁を好きになってくれはったら、めっちゃ嬉しいねんけどなあ〜。

杉山美子



B コースを受講して

この度 オリーブ日曜クラスに参加することによって、あらためて勉強のたのしさを感じました。日本在住の外国人にとって知っているような、意外と知らなかったことをテーマにして、毎回とても勉強になったと思っています。生徒さんたちは、それぞれ違う国から来日しましたが、こうした勉強の機会を通じて、より日本のことをわかるようになり、自分自身からもっと日本のことを知りたいという気持ちがわきだすようになりました。 卓 慧宜

★卓さんは B コースすべての授業に参加してくれました。ありがとう、卓さん！★



書初めと鏡開きを体験

1月16日、お正月の文化を体験する授業として、書初めを行いました。先生役はお習字が趣味でずっとお稽古に通っている小春先生。生徒たちは筆の持ち方、墨のつけ方を教えてもらい、それぞれ好きなことばを選んで書きました。この英語は漢字で何？という質問があったり、漢字の書き順を聞かれたり、先生たちもうっかりできません。

お習字のあとは、鏡餅について福井先生が説明、神様にお供えた鏡餅を鏡開きで食べます！ということみんなでぜんざいをいただきました。3日前についたという乾先生持参のおもちのおいしかったこと！ぜんざいは大好評でかわりする人が何人もいました。



初めて筆を持つ外国人の方は、筆の根本までガーンと紙に押し付けて力を含めて書かれるのでは…とっていました。しかし、実際には、おそろおそろ筆先を紙につけて細〜く書かれる方が多く見られました。「好きな漢字を1つ書いて下さい」と言うと、生徒さんから「えー！」と声が上がりましたが、やり始めると、みなさん自分の思いをしっかりとって一文字を書いておられました。まさに『書き初め』の主旨通り！

「世界が平和になるように（和）」「日本語を教えてくれる先生方に感謝します（心）」など生徒さんたちの作品発表を聞いて、自己チューで自分の事ばかり考えている私には書けない一文字だなと思いました。（ちなみに私は「捨」=断捨離して整理整頓する！）を書きました

最後に、書をされている方もおられたと思いますが、師範でもない私が拙い講師をさせていただきましたこと、目をつむってくださいね。（小春京子）



書初めるとき雰囲気とてもよかったです。あずきはおいしかったです。もっと交流したいです。 王剣俊

鏡餅、橙、干し柿、裏白…日本人も忘れかけているお正月の風習を思い出しながら、みんなでおぜんざいを食べました。今度はいろんな国のお正月の風習でも交流したいですね。（福井えり）





先月の活動(1月)



今月の活動予定(2月)

日本語教室 1/9(M),16,23(臨時M),30 (4回)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 1/10 (日) (杉山、恩地、内田、堀野、豊村)
 1/16 (土) お正月文化体験教室
 1/24 (日) (中村、恩地、豊村)
 KIFA と打ち合わせ 1/14 (木) (恩地)
 まちセン施設部会 1/14 (木) (田中一美)
 BNN 会議 1/24 (日) (佐野)

日本語教室 2/6(M),13,20,27
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 シンポジウム 2/7 (日) (恩地、文沖、アシャドラ)
 まちセン運営協議会全体会 2/9 (火) (田中一)
 BNN 拡大委員会 2/13 (土) (佐野)
 BNN スピーチ大会 2/28 (日) (佐野、豊村、吉田)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(1月)

	1/9	1/16	1/23	1/30
先生	19人	21人	19人	13人
生徒	21人	23人	18人	23人



会員の動き(1月)

〈入会〉尾笹香織さん、千野真里奈さん 1月9日
 中須賀剛さん、張学鑫さん 1月23日
 石崎直近さん 1月30日
 〈休会〉なし 〈退会〉なし 〈賛助会員〉なし



資格や指導経験は御座いませませんが、以前からこのような活動に参加したいと考えておりました。皆さんのお力になれるよう努力させていただきますので、何卒よろしくお願い致します。 尾笹香織



10年ぶりに戻って来ました。よろしくお願ひします。 中須賀剛



中国出身で、来月13年目の張です。会社の転勤で草津に来ました。 張学鑫

こんにちは。千野真里奈と申します。日本語教育指導講座を修了してから数年、ようやくスタートすることとなりました。皆さんと楽しく学び合っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ致します。



京都在住の石崎です。日本語教師を目指してひます。養成講座を修了しましたが、まだ勉強中です。よろしくお願ひします。



中村さんの季節折々 2月(如月)

湯上りの人らむらがる扇風機 滝の音(ね)通う有馬温泉 ケンジ

みなさん、寒さに負けずにがんばっていますか？日本に来て、初めて雪を見たり、温泉に入る人も多ひのではないでしようか？
 神戸の有馬温泉、行ったことありますか？日本で有名な温泉の一つです。近くには滝(たき)もあり、おいしい料理のお店もたくさんあります。
 まだの方は、いつかいっしょに行きましょう！ 中村健治



編集後記: オリーブでは仕事、結婚、出産などで一度活動をやめた人がまたもどってきてくれるという嬉しいことが時々おこります。それだけ長く活動をしているってことだな~。それにどこかいいところもあるんだらうな~。活動を始めて今年で22年、長くやってこられたのはいつも素敵なスタッフがいたから。これまでに会ったみなさん、これから会おうみなさん、ありがとう！(MO)

